

令和2年度 事務事業評価(令和元年度実施事業事後評価)シート / 令和3年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報													整理番号	044		
事務事業名	生活支援体制整備事業費					補助区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算	会計名	介護保険特別会計	款	項	目	事業
担当部	保健福祉部	担当課	幸せ長寿課		担当係	在宅福祉係					3	3	1	4		
位置付けられている計画等	<input type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市高齢者プラン 老人福祉計画改定・第7期介護保険事業計画)					根拠法令及び市条例等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称: 介護保険法, 介護保険法施行令, 介護保険法施行規則) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称: 地域支援事業実施要綱) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 常総市生活支援体制整備事業実施要綱)									

2 事務事業の概要															
対象 高齢者をはじめとした住民															
目的 住民と生活支援等サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進が一体的に行われる地域になること。そのため各生活圏域毎に生活支援コーディネーターが配置され、地域のニーズと、ニーズに合致するサービスの創設が行われるようになれば、高齢者が住み慣れた地域で元気に暮らし続けることができる。															
内容・手段 日常生活圏域ごとに地域の法人等による生活支援コーディネーターや協議体の設置を業務委託することにより体制整備を行う。圏域毎の委託可能法人等の状況を考慮し、業務委託を徐々に拡大する。今後、業務委託法人による生活支援コーディネーターが地域のニーズを探り、多様な主体への協力依頼などの働きかけ、生活支援の担い手の養成や生活支援に資するサービスの開発を図る。															

3 事務事業の主たる成果指標															
指標名 生活支援を行うグループ等の立ち上げ															
単位	グループ	目標値	6	目標年次	令和4	年度	指標及び目標値設定の考え方(または設定できない理由)	昨年度の調査により、高齢者の日常生活上の困りごとの多くは、介護保険制度では補えない内容であること。また、その種類は多岐にわたり、当課だけでは実現不可能な内容もあることから、当課の目標としては、支援するエリアの大小は問わず、まずは、買い物支援等、何らかの生活支援を行うグループの立ち上げを目指すこととする。							

4 事務事業の実績															
平成29年度															
決算額	44,802	円	特定財源	36,178	円	一般財源	8,624	円	前年度(平成30年度) 第1層常総市生活支援体制整備推進協議会の開催 年1回 第2層常総市生活支援体制整備推進協議会の設置・開催 第1層および第2層生活支援コーディネーターの配置 男性介護予防推進員業務周知研修会 1回 生活支援体制整備事業情報交換会 1回 常総市高齢者における生活支援に関するアンケート調査 1回 コーディネーター訪問活動 生活支援コーディネーター委託 2カ所						
目標に対する実績値					グループ										
(住民一人あたりの行政コスト)			1		円										
平成30年度															
決算額	3,140,152	円	特定財源	2,535,673	円	一般財源	604,479	円	今年度(令和元年度) 第1層常総市生活支援体制整備推進協議会の開催 年1回 ※新型コロナウイルスの感染症予防のため今年度は書面により開催。 第2層常総市生活支援体制整備推進協議会の設置・開催(地域ケア個別会議) 第1層及び第2層生活支援コーディネーターの配置 ※第1層は在宅支援係、第2層は日常生活圏域ごとにコーディネーターを配置。うち2カ所(水海道中学校地区・水海道西中学校南地区)はNPOみんなの広場へ委託。令和元年9月には筑波キングスガーデン(水海道西中学校北地区)、令和2年2月からはNPO茨城センター・コムズ(鬼怒中学校地区)にそれぞれ委託を開始。 残る2カ所は支援係で対応中。 男性介護予防推進員意見交換会(交流会) 3回 ごみ収集支援における対象者把握調査 1回 生活支援コーディネーター養成研修 1回 ブラッシュアップ研修(移動支援) 1回 ブラッシュアップ研修(サロン) 1回 コーディネーター訪問活動						
目標に対する実績値			0		グループ										
(住民一人あたりの行政コスト)			52		円										
令和元年度															
決算額	4,289,465	円	特定財源	3,463,743	円	一般財源	825,722	円							
目標に対する実績値			0		グループ										
(住民一人あたりの行政コスト)			72		円										

5 担当課評価		実施したことによる成果や課題を記入してください。
成果	目標は設定していない	
成果内容分析	本事業は、これまで個別の困りごとへの対応が中心業務であった。しかし、2018年度の調査で「独居高齢者の日常生活上の困り事」の第1位「庭木の手入れ」、第2位「電球の交換」、第3位「年末の大掃除」、第4位「布団干し」、第5位「遠い所への外出」であった。そこで、2019年度からはその解決に向けた支援グループの立ち上げを目標とする。	
課題	本事業は、今後、少子高齢化や人口減少がさらに進み、高齢者を支える職種を担う人材も減少することが予測されることから、市民や民間企業、NPO団体等の理解や協力なしには事業の推進は困難であり、また、事業の進行には時間がかかることが予測される。	

7 実施計画															
今後3年間について、何をどの程度実施していくか具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。															
年度	令和2年度					令和3年度					令和4年度				
事業内容	◆生活支援コーディネーターの配置・委託 【第1層コーディネーター】在宅福祉係職員 【第2層コーディネーター】日常生活圏域ごとにコーディネーターを委託し配置。 ◆生活支援コーディネーター業務 ・地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起 ・地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ ・関係者のネットワーク化 ・目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一 ・生活支援の担い手の養成やサービスの開発 ・ニーズとサービスのマッチング ・包括で対応しているケースのうち、定期的な訪問や声掛け、または支援に時間を要するケースについては、各地域の生活支援コーディネーターに支援を委託している。					◆生活支援コーディネーターの配置・委託 【第1層コーディネーター】第1層コーディネーター1カ所を委託し配置 ※5,000,000円/年 【第2層コーディネーター】日常生活圏域ごとにコーディネーターを委託し配置。 ◆生活支援コーディネーター業務 ・地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起 ・地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ ・関係者のネットワーク化 ・目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一 ・生活支援の担い手の養成やサービスの開発 ・ニーズとサービスのマッチング ・包括で対応しているケースのうち、定期的な訪問や声掛け、または支援に時間を要するケースについては、各地域の生活支援コーディネーターに支援を委託している。					◆生活支援コーディネーターの配置・委託 【第1層コーディネーター】第1層コーディネーター1カ所を委託し配置 ※5,000,000円/年 【第2層コーディネーター】日常生活圏域ごとにコーディネーターを委託し配置。 ◆生活支援コーディネーター業務 ・地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起 ・地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ ・関係者のネットワーク化 ・目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一 ・生活支援の担い手の養成やサービスの開発 ・ニーズとサービスのマッチング ・包括で対応しているケースのうち、定期的な訪問や声掛け、または支援に時間を要するケースについては、各地域の生活支援コーディネーターに支援を委託している。				
	◆第1層常総市生活支援体制整備推進協議会(年1回開催)					◆第1層常総市生活支援体制整備推進協議会(年1回開催)					◆第1層常総市生活支援体制整備推進協議会(年1回開催)				
	◆コーディネーターの組織的な補完					◆コーディネーターの組織的な補完					◆コーディネーターの組織的な補完				
	◆地域ニーズの把握、情報交換、地域づくりにおける意識の統一					◆地域ニーズの把握、情報交換、地域づくりにおける意識の統一					◆地域ニーズの把握、情報交換、地域づくりにおける意識の統一				

8 行政改革懇談会(市民)の意見															
担当部長評価のとおりでよい。財政状況が厳しい中でも、生活支援体制の強化は必然である。地域の関係性も薄れつつある現在、行政だけでなく市民やNPO団体とも連携し「共に」に向かって取り組んでいただきたい。また、高齢者、独居高齢者の悩み事やニーズを把握し、各地区に支援センター等を立ち上げていただきたい。															

9 最終評価(行政改革推進本部)															
事務事業の方向性															
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止															
評価理由	地域全体で高齢者、独居老人等の見守りも含めた組織づくりを目指していただきたい。そのためには、社会福祉協議会を含めた行政の体制を整備されたい。														

10 事務事業の改善点と理由																			
実施計画のみ作成する場合も記入してください。																			
事業内容	指標名	生活支援を行うグループ等の新規立ち上げ				単位	件	目標値	2	指標名	生活支援を行うグループ等の新規立ち上げ				単位	件	目標値	4	
	予算額	歳出	計						9,361	千円	歳出	計						14,361	千円
			特定財源						7,559	千円		特定財源						11,597	千円
		歳入	一般財源						1,802	千円	歳入	一般財源						2,764	千円
	計						9,361	千円		計						14,361	千円		